



中濃記者会同時配布  
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年 6月18日(水) 岐阜県発表資料		
担当所属	担当者	電話番号
森林研究所	白田	直通 0575-33-2585
	田中	FAX 0575-33-2584

## 森林研究所「研究成果発表会」を開催します（参加者募集）

県森林研究所では、健全で豊かな森林づくりと、林業および木材産業の振興を推進するための研究開発に取り組んでいます。

このたび、当所の研究成果を森林・林業関係者をはじめ広く県民の皆様にお伝えするため、下記のとおり発表会を開催しますので、参加者を募集します。

### 記

#### 1 開催日時および方法

日時：令和7年7月11日（金）13：15～16：15（12：30より受付開始）

場所：わかくさ・プラザ 多目的ホール（関市若草通2丁目1番地）※別紙1「会場案内図」参照

#### 2 プログラム（発表内容は別紙2のとおり） ※ 時間は前後する場合があります

「再造林の課題解決に挑む研究開発」

13:15～13:20 開会・あいさつ

13:20～13:45 「災害に強い森林作業用道路の整備適地がわかりやすい  
地図の活用法」

森林資源部長 うすだ ひさお 白田 寿生

13:45～14:10 「低コスト再造林に貢献するヒノキコンテナ苗育成技術」

主任研究員 もてき やすかず 茂木 靖和

14:10～14:25 休憩

14:25～14:50 「構造の異なる3種類のツリーシェルターを施工したスギ  
苗木の形状の違いとそれらの管理方法」

専門研究員 かたぎり なな 片桐 奈々

14:50～15:15 ～長野県との交流発表～

「生分解性の単木防護資材での再造林は、環境にどこまで  
優しくなるのか」

長野県林業総合センター  
こやま やすひろ 育林部 小山 泰弘  
長野県工業技術総合センター  
かしわぎ しょうご 材料科学部 柏木 章吾

15:25～16:15 長野県林業総合センターと岐阜県森林研究所の研究成果の  
紹介（ポスター発表）

16:15 閉会

#### 3. 定員

150人程度（参加無料、先着）

#### 4. 申し込み方法

(1) LoGo フォームによる方法

(<https://logoform.jp/form/T8mB/1068234>) により必要事項を入力しお申込みください。

(2) FAXによる方法

(FAX : 0575-33-2584)まで、所属団体(会社名等)、氏名、電話番号を明記しお申し込みください。

(3) 申し込み期限

(1)、(2) いずれも7月4日(金)まで(書式は自由です)

#### 5. 問い合わせ先

岐阜県森林研究所(〒501-3714 美濃市曾代1128-1) 担当: 臼田<sup>うすだ</sup>、田中<sup>たなか</sup>

電話: 0575-33-2585 FAX: 0575-33-2584

※森林研究所ホームページ(<https://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/>)でもご案内しています。



LoGoフォームQRコード

## 【会場案内図】



## 【交通のご案内】

- ・東海北陸自動車道「関IC」から車で15～20分
- ・長良川鉄道「関市役所前駅」から徒歩10分
- ・岐阜バス 路線バス「わかくさプラザ」バス停 徒歩1分
- ・岐阜バス 高速バス「関市役所・わかくさプラザ」バス停 徒歩1分
- ・関シティバス「わかくさ・プラザ」バス停 徒歩1分
- ・長良川鉄道「関駅」、関シティターミナルからタクシー5分

## 【発表内容】

## ○口頭発表

発表1 災害に強い森林作業用道路の整備適地がわかりやすい地図の活用方法

森林資源部 森林資源部長 うすだ ひさお 臼田 寿生

当所では、気候変動にともなう災害リスクに対応した森林作業用道路の整備を支援するため、デジタル技術を活用した災害に強い道路整備の適地がわかりやすい地図を開発し、令和6年4月に当所のウェブサイトで公開しました。この取り組みは、内閣府の第4回Digi 田甲子園において内閣総理大臣賞を受賞するなど有識者等から高い評価をいただき、道路整備の現場においても成果の活用が進んでいます。本発表では、研究成果を活用した道路整備の実例とあわせて具体的な地図の活用方法を紹介します。

キーワード：路網整備、山地災害、地形、土石流、地図

発表2 低コスト再生林に貢献するヒノキコンテナ苗育成技術

森林環境部 主任研究員 もてき やすかず 茂木 靖和

戦後造林された人工林を中心に本格的な利用期を迎えています。しかし、再生林がネックとなり、主伐が先送りされています。再生林のハードルを下げるには、コストの低減が有効です。今回は、本県で最も植栽されているヒノキについて、苗育成の視点から再生林コストの低減に繋がる取り組みを紹介します。

キーワード：ヒノキコンテナ苗、低コスト再生林、苗育成、植栽後の成長、苗選択

発表3 構造の異なる3種類のツリーシェルターを施工したスギ苗木の形状の違いとそれらの管理方法

森林環境部 専門研究員 かたぎり なな 片桐 奈々

現在、市販されている獣害対策資材のツリーシェルター（以下、シェルター）には、様々な仕様のものがあります。岐阜県内におけるスギ植栽地2カ所で、植栽から6年間、異なる構造のシェルター3種類を設置した苗木の成長経過を調査してきたところ、シェルターの構造ごとで、スギ苗木の形状が変わることがわかってきました。また、一部のシェルター構造がもたらすスギの形状は、積雪による曲がりや倒伏、斜立を引き起こしやすいことがわかりました。これらの結果と、結果から考えられるシェルターの管理方法について紹介します。

キーワード：ツリーシェルター、スギ、管理方法、積雪地

発表4 ～長野県との交流発表～生分解性の単木防護資材での再生林は、環境にどこまで優しくなれるのか

長野県林業総合センター 育林部 こやま やすひろ 小山 泰弘  
長野県工業技術総合センター 材料科学部 かしわぎ しょうご 柏木 章吾

獣による食害から植栽木を守るための防護資材。その中には、自然分解し撤去の手間が不要な生分解性のものがあります。今回は、3種類の防護資材の3年経過後の状況について、生分解性と非生分解性とで比較したので、資材設置後のカラマツの成長とあわせて報告します。

キーワード：ニホンジカ被害、マイクロプラスチック、カラマツ、主伐再生林、成長

## ○ポスター発表

「成長の早いヒノキ実生コンテナ苗の性能を最大限に引き出す再造林手法を考える」

主任専門研究員 わたなべ ひとし  
渡邊 仁志

「間伐が水源かん養機能におよぼす効果について～8年間の調査結果～」

専門研究員 ひさだ よしずみ  
久田 善純

「再造林地の植生によって下刈りが必要な年数は変わるのだろうか？」

研究員 うしき きょうすけ  
宇敷 京介

「ハナノキを加害する特定外来生物ツヤハダゴマダラカミキリ」

主任専門研究員 おおはし あきひろ  
大橋 章博

「森林作業道の損壊発生リスクを評価する地図の作成」

専門研究員 わただ ともひろ  
和多田 友宏

「シイタケ発生への夏場の温度上昇の影響について」

専門研究員 かみつじ ひさとし  
上辻 久敏

「ヒノキ心持ち正角3段接着重ね材の曲げ強度性能の検証」

主任研究員 たなか けんと  
田中 健斗

「国産黒トリュフの継続発生に成功しました」

主任専門研究員 みずたに かずと  
水谷 和人

長野県林業総合センターポスター発表（2題程度）